

山行報告 ： 大ナゲシと毛無岩

【山 域】西上州

【コース】10/22(土) 大ナゲシ北稜 晴れ

10/23(日) 千ヶ平～毛無岩 晴れ

【参加者】CL 柘植、SL 吉川(記録)、佐藤、井本、澤田淳

【記 録】 10/22(土) 大ナゲシ北稜

両神山の赤岩峠の北西に位置する大ナゲシに北稜を辿り、赤岩峠から赤岩沢沿いの登山道を下る周回コースで歩いてきた。道なき岩稜帯のルートハントにひそかな闘志を燃やして、上野村の胡桃集落に入る。赤岩橋に駐車し、胡桃橋の左岸に入る。取り付きはいつもの事だが、かなりの急斜面を標高350m程登り益々の急登をこなすと主尾根に乗る。1073mのピークを通過して間もなくの絶壁を20m位の懸垂で降り、またもや岩壁の基部を巻き暫く岩稜を進み次の岩鬼は登れず、東側の足場の悪いレンゼを四つん這いで這い上がる。野栗沢諏訪山の肩を九十九折に登る途中に、巨大なサルノコシカケ！ちょっと腰かけてみるが、びくともしなかった。暫く岩から解放されているうち、野栗沢諏訪山に立つ。雨乞いの山らしく祠があった。山頂の南側の岩壁を避け大きく東側を巻き登りきって標石八をみて岩壁の西側の基部から、細尾根を進み次の岩壁は、東側の苔むした不安定なシャクナゲの急斜面を四足で登り、大ナゲシ前衛の小ナゲシに立つ。目の前の大ナゲシを眺め、下り口を見つけ、クライムダウンと懸垂で降り立ち、間もなく大ナゲシ基部に到着して鎖の下がる岩場を登る。山頂からは、西上州の山波、西には目を引くピラミダルな鋭鋒が二つ、大山と宗四郎山？南に赤岩岳から続く赤岩尾根の眺望に感動し、次はあの赤岩尾根を歩きたいと思う。この先は踏み跡を辿り赤岩峠から、北に向かい、赤岩谷のシダの道や小滝や大滝を眺め、癒しの登山道を下る。





10/23 毛無岩

下仁田から荒船湖に向かい農村公園に駐車し、千ヶ平の北東尾根に取り付く。植林帯の暗い急登から灌木の尾根になり、落ち葉を踏みしめて千ヶ平に向かう。東に物語山や、今日下りに取る巡視路の尾根を紅葉した木々の間に望みながら進み、大岩の基部の急斜面を登り千ヶ平の展望の良い山頂に立つ。これから辿る藪尾根の先に毛無岩がそそりたっている。浅間山や荒船山の展望を得て、紅葉の尾根に下って進む。マッターホルン岩を懸垂で降り、1116mのピークを踏み、無理なく登れる岩場を2、3か所楽しみながら進んでいる時、前方の毛無岩に人が立って居た。嬉しくなって、大きく手を振ると先方も答えてくれた。西側のきれ落ちた岩壁の縁に立っている景色は絵になる。荒船山の左に、妙に気になるカエルの横顔のような山があった。行塚山との事、愛嬌のある山だと思った。岩場の縁に登りきると毛無岩にでた。



展望と高度感を楽しみ急斜面を下り、1275mのピークを通過、巡視路の杭を見つけ、巡視路をしばらく降る。巡視路は、急斜面には階段があり歩きやすい。1050m辺りから西に急斜面を下り林道に降り立つ。道平川沿いの林道を歩いて農村公園の駐車場に到着する。
終わってみれば、藪もなく、ほどほどの踏み跡があり、思いのほか苦労せず楽しめた。

吉川りつ子（記録）

